

シノハラ防災
エコアクション 21
環境経営レポート

2018 年度

(2018 年 6 月～2019 年 5 月)

エコ企業

シノハラ防災株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-10

TEL 03-3252-7547 FAX 03-3252-6560

I. 事業の概要

1. 事業所名 シノハラ防災株式会社
2. 代表者 代表取締役社長 篠原 公則
3. 所在地 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-10
TEL 03-3252-7547 FAX 03-3252-6560
4. 関連事業所 武蔵野営業所
〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 2-23-19
TEL 0422-48-5636 FAX 0422-48-5648
5. 環境管理責任者 篠原 隆宏
6. 事業内容
 - (1) 消火・警報・避難設備等に関する各種商品、設備の販売、施工およびメンテナンス
 - (2) その他、上記に関連する一切の事業
7. 事業の規模
 - (1) 設立 1967年(昭和42年)5月20日 (創業1946年11月)
 - (2) 資本金 3,000万円 (3) 事業所面積 212㎡

II. 対象範囲

1. 認証・登録範囲
消火・警報・避難設備等に関する各種商品、設備の販売、施工およびメンテナンス
2. レポート
対象期間…2018年6月1日から2019年5月31日
(2018年6月は決算期とEA21集計期を合わせるため、前集計期と重複)
レポート発行日…2019年8月30日

III. 環境方針

1. 環境理念
当社は、消防、防災の事業を通して、地球と地域の環境の保全に貢献します。
2. 環境方針
 - (1) 環境に配慮した経営を実現するために、環境経営システムを構築し、継続的に維持し改善します。
 - (2) 環境活動の取組みにより次の環境負荷を軽減します。
 - a. エネルギー消費の削減により二酸化炭素の排出削減
 - ・ 無駄な電力消費を控える
 - ・ エコ運転を心掛け排気ガスの抑制に努める
 - b. 排出量の削減
 - ・ 廃棄物排出量の適正化
 - ・ 排水量(水使用量)の適正化
 - ・ 再使用・再資源化の推進
 - c. 廃消火器のリサイクル促進
 - d. 環境対応事務用品の使用
 - (3) 環境に関する法令、規則、協定を遵守します。
3. 取組への自己チェック
環境への負荷ならびに取組の自己チェックを行い、その結果の概要を「環境活動レポート」とし公表し、持続して改善を行います。

制定 2010年8月2日
修正 2019年8月30日
シノハラ防災株式会社
代表取締役社長 篠原 公則

IV. 環境目標と活動計画

当社の環境活動の取組み課題は次の①～⑤の5項目とし、目標値は全社目標として年度ごとに設定する。

(結果はV.次年度以後の目標値はVIに示す)

取組み課題と行動計画

取組み課題	活動計画		
	計測項目	目標達成のためにすべきこと	責任者
① 二酸化炭素の 排出量の削減	電力使用量 排出係数東京電力 0.531 kg-CO ₂ /kwh	i) 事務機器、照明の電源の適切管理 ★不使用时は電源 OFF と蛍光管の取り外し ii) 扇風機の使用で冷暖房の過剰使用をしない。 ★冷房：28℃ 暖房：20℃	Eco 管責
	ガソリン使用量	i) エコ運転の励行 (アイドリングストップ) ii) 公共交通機関の使用	
② 廃棄物等排出量の 適正化	循環資源量(再資源 化、再利用可能量)	i) 無駄のない作業の実行で施工時の電線類の適切使用。 ii) コピー紙の裏面使用、両面プリント ★ 社内文書は裏面使用 ★点検報告書の両面プリント iii) 使用済段ボール類の再資源化 iv) 金属類、Ni-Cd 電池のリサイクル促進 v) 廃棄物の分別による再資源化 vi) 消火器および薬剤のリサイクル(日本消火器工業会による 広域認定制度の活用)	
③ 総排水量の適正化	排水量(水使用量)	i) 垂れ流しをしない ii) 節水具の使用	
④ 廃消火器のリサイクル促進		廃消火器・薬剤の受取りの全数をリサイクルシステムでリサイクルする	
⑤ 環境対応事務消耗品の購入		i) 環境に配慮した製品の購入 事務用品のグリーン商品比率 50%以上 ii) 無駄な物を購入しない	

V. 環境目標の実績

1. 実績（全社）

環境負荷	対象項目	第 52 期実績	第 53 期目標	第 53 期実績	実績前年	第 53 期	目標達成	
		17.7~18.6	18.6~19.5	18.6~19.5	対比	実績/目標	状況	
エネルギー 使用量	ガソリン使用量 (L)	13,322	13,400	14,131	106%	—	—	
	電力使用量 (kWh)	4,231	4,300	4,707	111%	—	—	
	CO2 排出量 (kg-CO2)	16,898	17,000	17,449	104%	103%	○	
廃棄物	再資源化	一般廃棄物 (リサイクル) (kg)	1,765	1,700	2,064	—	—	—
		産業廃棄物 (リサイクル) (kg)	802	1,000	2,299	—	—	—
	再資源化量 計 (kg)		2,567	2,700	4,363	—	—	—
	最終処分 (埋立)	一般廃棄物 (最終処分) (kg)	220	150	166	—	—	—
		産業廃棄物 (最終処分) (kg)	568	550	0	—	—	—
	最終処分(埋立)量 計 (kg)		787	700	166	—	—	—
	廃棄物総排出量 (kg)		3,354	3,400	4,529	135%	133%	×
水使用量	上水量 (m3)	121	125	122	101%	98%	○	
廃消火器	引取り本数 / 引渡し本数	100%	100%	100%			○	
環境対応 事務用品	事務用品における グリーン商品購買率	52.7%	50.0%	59.8%	113%	120%	○	

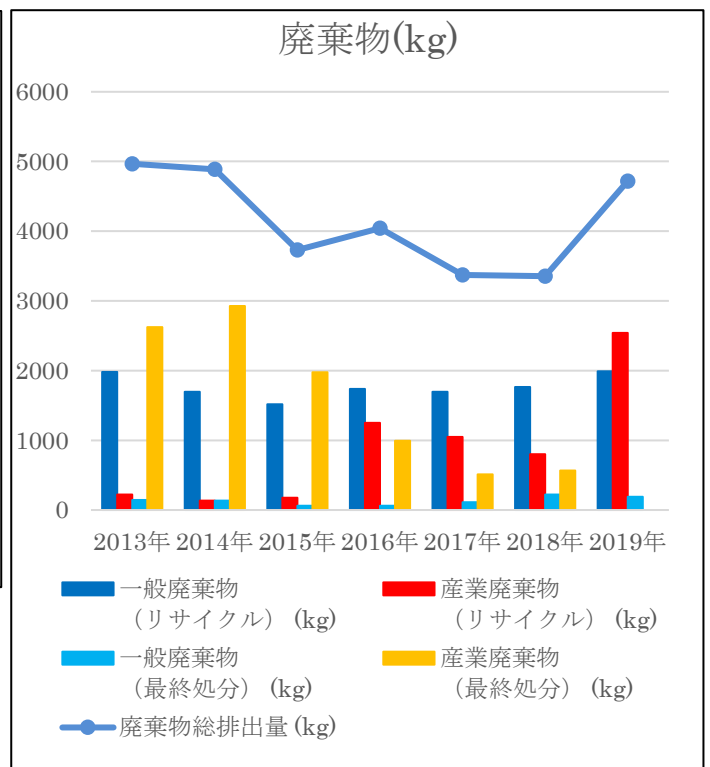
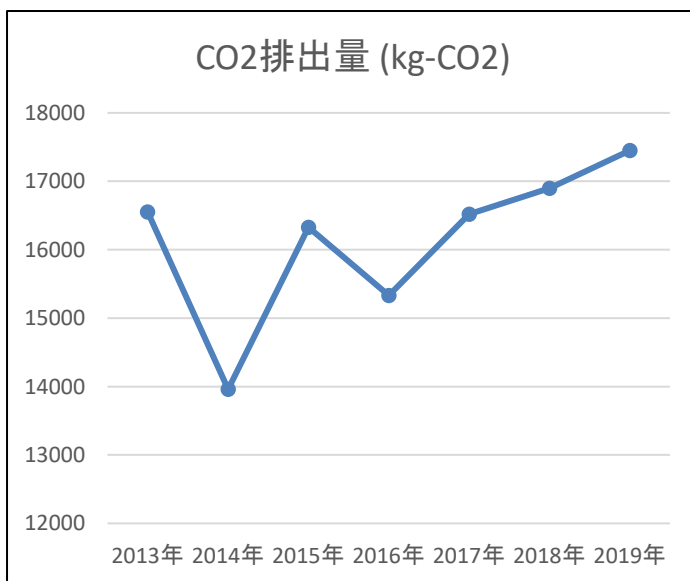
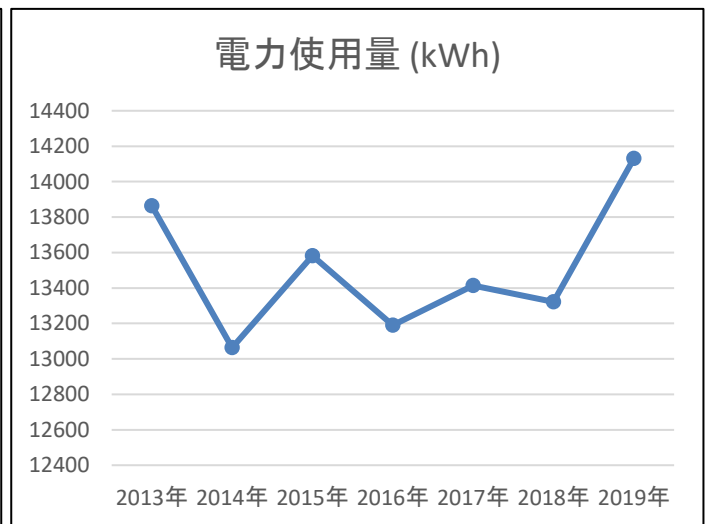
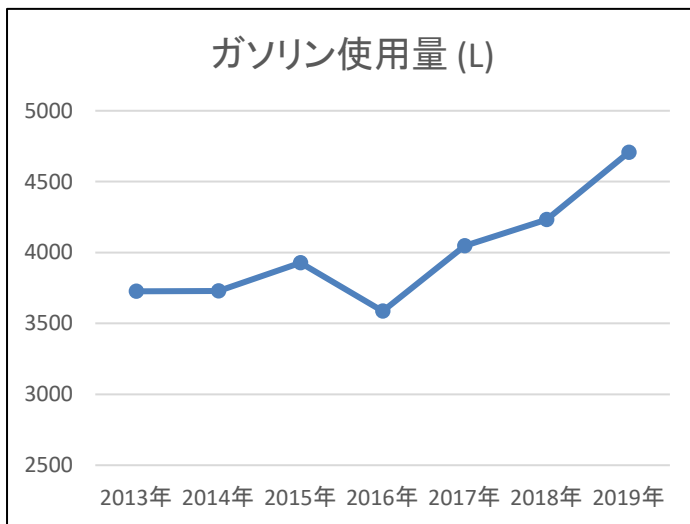
※実績の目標達成の評価基準について

対目標比率で 105%以下を達成と評価する。(事務用品に関しては 95%以上とする)

廃棄物に関しては、廃棄方法の変更で大きく変動するため、項目ごとの評価は行わず、総量で評価する。

目標達成とならなかった項目について、詳細の検証を行い、対策を検討する。

量		第 47 期	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期	
		2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	
エネルギー 使用量	ガソリン使用量 (L)	3725.9	3728.5	3927.6	3586.1	4047.3	4231.3	4707.3	
	電力使用量 (kWh)	13864	13063	13581	13190	13414	13322	14131	
	CO2 排出量 (kg-CO2)	16555	13960	16330	15330	16519	16898	17449	
廃棄物	再資源化	一般廃棄物 (リサイクル) (kg)	1979	1694	1517	1738	1696	1765	1990
		産業廃棄物 (リサイクル) (kg)	220	133	177	1250	1050	802	2540
	再資源化量 計 (kg)		2199	1827	1694	2988	2746	2567	4530
	最終処分 (埋立)	一般廃棄物 (最終処分) (kg)	143	136	63	62	112	220	188
		産業廃棄物 (最終処分) (kg)	2625	2925	1975	993	512	568	0
	最終処分(埋立)量 計 (kg)		2768	3061	2038	1055	624	788	188
	廃棄物総排出量 (kg)		4967	4888	3732	4043	3370	3355	4718
水使用量	上水量 (m3)	122	125	128	123	122	121	122	



2. 環境への取組みの自己チェックの結果

取組み内容の見直し・検討を行い、評価点は 323/332 ポイントとなった。

VI. 結果と評価および次年度の取組内容

受注物件の特性により、自動車の走行距離が増加したため（前年比 113%）、ガソリンの使用量は増加となった。自社所有車の平均燃費は前年と大きな変動は無いため、走行距離の増加がガソリン使用量増加の要因である。廃棄物については、業績に応じて総量が増加し、目標達成とはならなかった。集計の区分については、産業廃棄物（廃プラ）の最終処分方法が埋め立てではないことから、今年度集計より再資源化量で集計したため、該当項目の数量構成が変わった。

第 54 期の目標については引き続き、節電と自動車の Eco 運転に努める。

今期からの受注物件でも車両の走行距離の増加が想定されるため、ガソリン使用量の目標を修正する。業績目標は第 53 期と同等とするため、産業廃棄物総量も、第 53 期を基準に修正を行うとともに、分別を確実にを行う。

上水使用量については、大きな変動はないため現状維持とする。

廃消火器については、現状通り全数を消火器リサイクルシステムにより適正に処理を行う。

ガイドラインの変更に伴い環境対応事務商品については、目標から削除するが今後も積極的に使用する。

次期目標値

環境負荷		対象項目	第 54 期目標	2 年後	3 年後
			19.6~20.5	20.6~21.5	21.6~22.5
エネルギー 使用量	ガソリン使用量 (L)		4800	4800	4800
	電力使用量 (kWh)		14000	14000	14000
廃棄物	再資源化	一般廃棄物 (リサイクル) (kg)	2000	2000	2000
		産業廃棄物 (リサイクル) (kg)	2300	2300	2300
	再資源化量 計 (kg)		4300	4300	4300
	最終処分 (埋立)	一般廃棄物 (最終処分) (kg)	165	165	165
		産業廃棄物 (最終処分) (kg)	0	0	0
	最終処分(埋立)量 計 (kg)		165	165	165
	廃棄物総排出量 (kg)		4465	4465	4465
	水使用量	上水量 (m3)	125	125	125
廃消火器	引取り本数 / 引渡し本数	100%	100%	100%	

VII. 環境関連法規の遵守および違反、訴訟

1. 当社の直接関係する主な環境関連法規は次のとおりである。

- ① 消防法および関係法令
- ② 廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係法令、条例
- ③ 日本消火器工業会による廃消火器リサイクル「特定窓口業務運用マニュアル」

なお、「関連法規の取りまとめ及びチェックリスト」により遵守されている事を確認した。

2. 違反、訴訟等

2019年5月31日まで、過去3年間に渡り環境関連の違反、訴訟及び関係機関からの指摘はない。

VIII. 社長による総合評価と見直し

第53期は、前年・計画を上回る業績を上げることができた。

業績に伴い、車両の走行距離・廃棄物の排出量が増加する結果となった。

第54期も、車両の走行距離の増加が見込まれる案件の受注があるため、目標値の見直しを行うとともに、常にECO運転を心掛け燃料使用量の抑制に努める。

そのほかの指標については、第53期の実績値と同等の目標値に修正する。

「私達は、常に改革の心を持ち変革を求め、お客様と共にある会社を目指します。」を年間目標とし、様々なことを改革し、売上目標・Eco目標の達成を目指す。

2019年8月30日

シノハラ防災株式会社

代表取締役社長 篠原 公則

連絡先 シノハラ防災株式会社

環境管理責任者 篠原 隆宏

東京都千代田区内神田 2-7-10

TEL 03-3252-7547 FAX 03-3252-6560